

「未来貢献PROJECT」

挑戦問題 「ふるさとの未来のために、メッセージを伝えよう！」

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 責任・使命 協力・協働 感謝・貢献

1 単元で目指す学びの姿

ふるさとの良さや課題を再発見し、未来に貢献するためのメッセージの発信を、創作劇づくりを通して協働して挑戦しようとする姿。

志を抱く

ふるさとの良さや課題を再発見する中で、自分たちが伝えたいメッセージを見い出す。

準備をする

メッセージを伝えるための創作劇を準備し、役割分担を決め、協働して制作する。

挑戦する

広南劇場で、創作劇の上演を通して、地域の人に広くメッセージを発信する。

2 単元設定の理由

本単元は、「ふるさと学習」における、地域・未来貢献プロジェクトの集大成である。人口減少社会を迎えた今日、社会科においては広南地域の過疎化の問題、また理科においては、環境問題に触れている。これまでの学習を横断的に振り返るとともに、ふるさとの良いところや課題を再発見することで、将来起こるであろう地域の課題に沿って、自分たちにどんなことができるかを総合的に考え、実践しようとする態度を育てることを狙いとする。

創作劇に取り組むことは、誰もが責任を持って役割を果たさなければならない負荷があることによって、実社会における問題解決に取り組む態度である、責任・使命や協力・協働など学びに向かう力を育むことにつながると考える。22人という少人数での環境では、舞台に関わる準備については、そのほとんどを全員で取り組まなければならない。作業の一つ一つを自分たちで力を合わせ取り組んでいくことで達成感を味わわせたい。

さらに、自己満足で終わることのないよう、今年は、「感想ボード」を会場に設置し、上演後、観客に自由に意見を書いてもらい、それらを振り返りに活用する。「感想ボード」を準備することを事前に生徒に伝え、地域の方々に観客として評価してもらえる劇にするという意識を高めたい。そのことが、本当の意味での地域貢献につながり、自分たちが協力して進めなければならないことにつながるきっかけになると考える。

3 単元目標（学習対象・学習事項）

地域の良さや課題を再発見し、周囲と協働しながら「創作劇」を作り、地域に発信することを通して、地域の未来を担う志と力を身に付ける。

4 学習期間

第3学年8月～10月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					←	→					
				4 h	9 h	4 h					

5 学ぶ姿を見取るため生徒と共有する資質・能力ルーブリック

	資質・能力	評価	評価基準
技能・知識	ふるさとの良さに係る知識・技能	S	ふるさとの良さや課題を、誇りをもって伝えることができる。
		A	ふるさとの良さや課題を、工夫して伝えることができる。
		B	ふるさとの良さや課題を、伝えようと努力することができる。
		C	ふるさとの良さや課題について、理解することができない。
横断的・総合的な問題解決の能力	情報収集 判断	S	地域の歴史や地域の未来について情報を収集し、ふるさとの良さや課題を再発見し、創作劇にどう生かすかを考えることができる。
		A	地域の歴史や地域の未来について情報を収集し、ふるさとの良さや課題を再発見し、自分たちの課題について考えることができる。
		B	地域の歴史について情報を収集し、ふるさとの良さを再発見し、自分たちが何をしなければならないか考えることができる。
		C	ふるさとの良さや課題を再発見することができない。
	思考 表現	S	観客に伝わるように、自分の役割に応じた効果的な表現の仕方を工夫し、演じることができる。
		A	観客に伝わるように、自分の役割に応じて効果的に演じることができる。
		B	観客に伝わるように、自分の役割を演じることができる。
		C	観客に伝わるように演じることができない。
実社会における横断的・総合的な問題解決に取り組む態度 学びに向かう力・人間性	挑戦 探究	S	地域の方を感動させ、達成感を味わい、メッセージを伝える創作劇をつくることができる。
		A	粘り強く取り組み、地域の方を喜ばせる創作劇をつくることができる。
		B	創作劇の上演に向け、最後まで取り組むことができる。
		C	創作劇の上演に向け、努力することができない。
	責任 使命	S	劇を通して地域の未来を担う責任や使命を考え、生き方の目標を見付けることができる。
		A	自分に与えられた役割を考え、すべきことを行うことができる。
		B	自分に与えられた役割を理解し、果たそうと努力することができる。
		C	自分に与えられた役割を果たそうと努力することができない。
	協力 協働	S	創作劇の上演に向け、演技について話し合ったりアドバイスしあったり、舞台の準備について話し合い、課題解決に向けて話し合い、最高の劇に作り上げることができる。
		A	創作劇の上演に向け、演技についてアドバイスしあったり、舞台の準備について話し合い、協働的に取り組んだりすることができる。
		B	創作劇の上演に向け、演技についてアドバイスしあったり、舞台の準備について協力して取り組んだりすることができる。
		C	他の人と協力することができない。
	感謝 貢献	S	創作劇の上演を通して、地域の方に感謝の気持ちを伝え、地域との絆を感じることができる。
		A	創作劇の上演を通して、地域の方に喜んでもらうことができる。
		B	創作劇の上演を通して、地域の方に感謝する気持ちを伝えたいと努力することができる。
		C	創作劇の上演を通して、地域の方に感謝する気持ち伝えたいと思うことができない。

6 本単元の指導計画（総授業時間数 17 時間）

月	学習活動	時数	指導上の留意点・評価の視点・方法
8	<p>課題の設定</p> <p>STEP 1 「先輩たちの創作劇からどんなメッセージが伝わってくるか、劇をつくるために必要なものは何かを考えよう。」</p> <p>○先輩たちの創作劇のDVDから学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩の創作劇のDVDを見て、先輩たちのふるさとに対するメッセージを知り、自分たちはどのようなメッセージを伝えるべきかを考える。 先輩たちの創作劇の良さに気づく。 <p>挑戦問題</p> <p>「ふるさとの未来のために、メッセージを伝えよう！」</p> <ul style="list-style-type: none"> ループリックでこの単元でつける資質・能力を確認する。 この地域へのメッセージとして、どのようなことが考えられるか課題とする。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 先輩たちの伝えたかったことは何かを考える 地域や未来についてのテーマを提示し、自分たちの使命を考えさせ、自分たちはどのような創作劇をつくりたいかを考えさせる。 <p>★【挑戦・探究】</p> <p>ふるさとのために、創作劇を上演する意義を理解し、挑戦しようとする気持ちを持つことができる。</p>
	<p>情報収集 I</p> <p>STEP 2 「ふるさとの未来についてどのような問題があるかを調べよう」</p> <p>○地域で起こる問題にはどのようなことがあるだろうか。</p> <p>○地域の「過疎化」や「伝統文化」の問題は、どうなっていくのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれが情報収集する内容の分担を決める。 どんな情報を集める必要があるか、考える。 各グループで、項目立てを決める。 必要な情報を実際に集め、メモにまとめる。 創作劇に必要な役割分担も決める。任された仕事を進めていく際、どのような情報が必要か考える、 	3	<p>★【情報収集・判断】</p> <p>環境問題・地域の歴史についてさまざまな資料から情報収集し、ふるさとや自分たちの課題を考えることができる。（班新聞）</p>
9	<p>整理・分析 I</p> <p>STEP 3 「集めた情報を班新聞にして発表し、これから先、自分たちが取り組まなければならないことは何かを考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べた情報をもとに、自分たちの課題を考え、交流する。 <p>情報収集 II</p> <p>STEP 4 「課題を意識しながら、創作劇の準備をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 脚本に、自分たちの考えを入れ込み、物語を完成させる。 創作劇の作り方を学び、自分たちの役割を分担する。 	1	<ul style="list-style-type: none"> それぞれのグループの発表を聞いて、自分たちが取り組まなければならないことを発表し合う。
	<p>STEP 4 「課題を意識しながら、創作劇の準備をしよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> 脚本に、自分たちの考えを入れ込み、物語を完成させる。 創作劇の作り方を学び、自分たちの役割を分担する。 	1	<p>★【協力・協働】</p> <p>舞台の準備について、必要なものは何か、アイデアを出し合ったり考えを出し合ったりできる。</p>

	<p>STEP 5 「それぞれの役割の中で、やるべきことを順序立て、準備をしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署で、どのように仕事を進めるかを確認し、必要なものをリストアップする。 作業日程を決め、それぞれの部署で作業を始める。 <p>STEP 6 「創作劇の練習をしよう」「舞台装置を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝居を効果的に見せるために、どのような道具を準備して、どのように使っていくかを考える。 パートごとの練習を行う。 舞台装置製作の進捗状況を、全体で確認し、協働して作業する。 	<p>2</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 創作劇のカレンダーを見ながら、自分たちで計画を立てる、 <p>★【知識・技能】</p> <p>台詞を言うのではなく、その状況に即したコミュニケーションを表現するためにどのような工夫点があるか、考える。(振り返りシート)</p> <p>★【協力・協働】</p> <p>話し合ったりアドバイスをしたりして、効果的な表現にしようとしている。</p> <p>舞台装置や音響など、協力・協働して作業をしている。(行動観察・振り返りシート)</p>
<p>10</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">整理・分析Ⅱ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;">新たな課題の設定</div> <p>STEP 7 「先生方に見てもらい、必要な箇所を見直そう」</p> <p>○ 通し稽古をして、最後の確認をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 通し稽古を先生方に見てもらい、アドバイスをもらう。その中で、改善点を見つけ、改善する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 20px; margin-bottom: 10px;">まとめ・創造・表現</div> <p>STEP 8 「本番 創作劇を上演しよう」</p> <p>○ 感想ボードの設置とアンケートを準備し、観客の人々に感想を書いてもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px; margin-bottom: 10px;">振り返り</div> <p>(振り返る)</p> <p>○ 「単元で身に付けた資質・能力を振り返ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 創作劇を披露することで、地域の人たちを喜ばせ、メッセージを伝えることができたか、感動させることができたかについて振り返り、クラスで交流する。 ワークシートのループリックを見て、本単元で身に付けた資質・能力を自己評価する。 ワークシートを提出し、教師の評価を受ける。 	<p>2</p> <p>1</p> <p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> 立ち稽古ができたなら、先生方に見てもらい、さらに工夫をしていく <p>★【責任・使命】</p> <p>自分の役割を理解し、スムーズに練習ができるために何をしなければならないか等、自分の責任を果たしているか振り返る。</p> <p>★【思考・表現】</p> <p>観客に伝わるように、効果的に表現の仕方を工夫している。(行動観察・振り返り)</p> <p>★【感謝・貢献】</p> <p>上演に向け、創作劇の意義を確認し、感謝の気持ちを持って上演することを確認する。(振り返り)</p> <p>・感想ボードや自身の振り返りシートを見返しながら、ループリックの項目について自己評価を行い、自分の資質・能力の成長を確認する。</p>

7 本時の学習（1時間目／全17時間）

(1) 本時の目標 DVDを視聴して、先輩方がどのような劇づくりを目指しているか、それを参考に
して、自分たちがどのような劇をつくりたいかを考える。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆）	評価規準 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 劇を伝えるために、必要なことは何だろう。 先輩たちの去年の創作劇を見て、先輩たちがふるさとのために伝えたかったメッセージは何か、どんな準備が必要か、考える。 <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の気付き例</p> <ul style="list-style-type: none"> 何を伝えたいか。という内容。 どんな準備が必要かわからない。 </div>	
<p>めあて STEP1「先輩たちの創作劇からどんなメッセージが伝わってくるか、劇をつくるために必要なものは何かを考えよう。」</p>		
<p>3 広南劇場で、上演すべき芝居とはどんなものか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩方の創作劇を見ながら、伝わってきたメッセージ、創作のために参考になったこと等、考えたことを記入する。 発表し、交流し合う。 挑戦問題を知る。 ルーブリックでこの単元に付ける力を確認する。 <p><挑戦問題の提示></p>	<ul style="list-style-type: none"> 先輩たちのテーマの設定の仕方を考える。 広南劇場を楽しみにしている人たちは、自分たちにどんなことを期待しているか考える。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の意見の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の偉人のことを題材にしている。 自分たちの活動の成果を題材にしている。 全員で劇をつくっている。 </div>	
<p>挑戦問題「ふるさとの未来のために、メッセージをつたえよう！」</p>		
<p>4 良い創作劇にするために必要な要素を考える。先輩たちの良い点を交流する。</p> <p>5 自分たちが、今回の単元でどのようなメッセージを伝えたいか、思いを持つ。</p> <p><予習課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 次回は地域へのメッセージについて考えるので、どんな案があるか、考えてくること。 	<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の意見の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域への強いメッセージを入れたい。 声が大きく、はっきりしゃべっている。 全員で劇をつくっている。 先輩たちの思いが伝わってくる。 </div> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちも先輩たちのような劇が創れるか不安だ。 地域の人に喜んでもらえる劇をつくりたい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ルーブリックを見て、今回身に付ける力を確認する。 <p>★【挑戦・探究】 地域の人のために、創作劇を創りたい、初めての劇だけどがんばりたい、という思いを持つ。(振り返りシート)</p>